

北陸石仏の会

第62回例会 令和4年5月29日(日)

—砺波地方の石仏めぐり—

- ①砺波市庄川町加羅谷 金屋石採掘跡
- ②砺波市庄川町金屋西野 御上様塚／十一面観音ほか
- ③砺波市庄川町金屋岩黒 瓜裂清水／不動明王ほか
- ④南砺市井波東町 安政義人慰霊碑横／無量力吼ほか
- ⑤砺波市庄川町金屋 高野山真言宗日照院境内／阿弥陀如来、地藏ほか
- ⑥砺波市庄川町青島から太田にかけて 中筋往来／西国三十三ヶ所観音ほか
- ⑦砺波市中野 立山酒造前／薬師如来、不動明王、秋葉権現、稻荷明神ほか
- ⑧砺波市太田 高野山真言宗万福寺／西国三十三ヶ所観音、不動明王ほか
- ⑨砺波市大門／聖徳太子二歳像、馬頭観音、如意輪観音ほか
- ⑩砺波市芹谷 高野山真言宗千光寺／地藏、西国三十三ヶ所観音ほか

①砺波市庄川町加羅谷 金屋石採掘跡

金屋石は幕末期から昭和30年ごろまで採掘された緑色凝灰岩。加工しやすく、石仏や民家の敷石などのほか、金沢城の水道管にも使われた。昨年、砺波市の「となみブランド」に認定された。採掘跡は山の中腹の高さ約70mの地点にあり、5カ所が確認されている。大きい洞穴は幅6m、高さ1.5m、奥行き1.5mの空間になっている。

②砺波市庄川町金屋西野 御上様塚／十一面観音ほか

御上塚とは、壇城主神保安芸守の室とも、この地に住んだ近藤大和の室とも伝える人の髪塚。塚上に「罪福皆空無所住」と刻まれた石碑が建てられている。

この石碑の隣に建てられている堂内に、明治の名石工森川栄次郎の傑作十一面観音がある。「明治十七年九月西野信徒中／石工森川栄次郎」とある。他には、不動明王坐像。地蔵立像、濯水観音、聖観音などが納められている。

③砺波市庄川町金屋岩黒 瓜裂清水／不動明王ほか

この清水は杉谷山（現在の前山）の庵から地方教化に出かけた綽如上人（本願寺五世・のち1390年瑞泉寺を開創）が、岩黒のこの地で休息の折に駒の蹄が突然陥没し、その跡から清水が湧き出したと伝えられています。

不動明王坐像に「明治三十二年一月／森川栄次郎建之」とある。他に、地蔵坐像、勢至菩薩、聖観音が並んでいる。

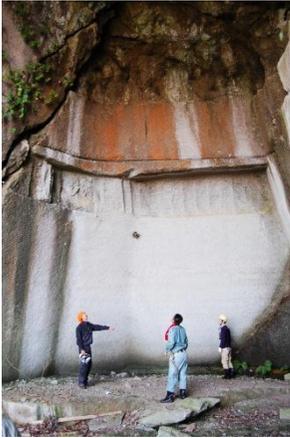
④南砺市井波東町 安政義人慰霊碑横／無量力吼ほか

五箇山農民が井波町の米穀商を打ちこわした「長崎村茂右衛門騒動」の磔刑場に建てられた「安政義人慰霊之碑」

無量力吼は明治期に流行したコレラの封じのため造立された。その左には井波石工の作の不動明王（明治22年）。

⑤砺波市庄川町金屋 高野山真言宗日照院境内／阿弥陀如来、地蔵ほか

境内の小堂内に、聖観音 白衣観音 聖観音 地蔵 阿弥陀如来など、多数の石仏が納められている。



金屋石採掘跡 1



金屋石採掘跡 2



水記念公園の不動明王



御上様塚の十一面観音



瓜裂清水



瓜裂清水の不動明王



日照院の石仏



安政義人慰霊碑横の不動明王と無量力吼

⑥砺波市庄川町青島から太田にかけて 中筋往来／西国三十三ヶ所観音ほか

江戸時代末期に、庄川町青島から中野、太田までの約6kmにわたり、西国三十三ヶ所観音霊場にちなんで建てられた石仏群。砺波市ふるさと文化財。この街道筋には、他にも多くの石仏が建てられている。

⑦砺波市中野 立山酒造前／薬師如来、不動明王、秋葉権現、稻荷明神ほか

中野の立山酒造東側に永昌庵跡があり、そこには9体の石仏を安置した観音堂がある。西国27番の如意輪観音の他に、不動明王、薬師如来、道標地蔵などがあり、またカルラの翅を持った秋葉大権現が納められている。

また 観音堂の右には、「奉納金剛経千部塔」「法華千部塔」「南無釈迦牟尼仏」と書かれた石塔があり、その並びに一石一尊の浮彫りの稻荷大明神の石神がある。

⑧砺波市太田 高野山真言宗万福寺／西国三十三ヶ所観音、不動明王ほか

萬福寺は当初、天平年間千光寺第二世智徳上人の開基ともいわれる真言宗の寺院で、もと芹谷の萬福山にあった。中世には増山城主神保氏の尊崇を受けたが、天正年間上杉氏侵攻の際兵火にあったと伝えられ、その後慶長5年(1600)慶遍法印により現在の場所に再建された。

山門周辺に、三十三ヶ所観音や森川栄次郎作の不動明王などがみられる。

⑨砺波市大門 路傍／聖徳太子二歳像、馬頭観音、如意輪観音ほか

大門そうめんの里です。田んぼの基盤整備で石仏が、地区のほとんどがお堂に集められています。大門そうめん資料館の横にある。

堂内には、如意輪観音、不動明王、聖徳太子二歳像、馬頭観音などが納められている。

⑩砺波市芹谷 高野山真言宗千光寺／地蔵、西国三十三ヶ所観音ほか

大宝3年(703)天竺の僧法道円徳上人の開基。桓武朝以後7代に亘り皇室勅願所であった。上杉謙信侵攻の際焼失。その後元和4年(1618)の火事で再度被災した。豊臣秀吉の越中平定の際、復興を命じ禁制朱印状(現存)を下した。以後加賀藩の祈祷所となり寺領安堵され現在に至る。

門前に三十三ヶ所観音が並び、他に地蔵などの石仏がみられる。



中筋往来観音第1～3番



中筋往来の不動明王



中筋往来観音第16番



中野観音堂



中野観音堂横の稲荷明神



中野観音堂内の石仏



万福寺の三十三ヶ所観音



万福寺の山門と不動明王



大門地蔵堂



大門地蔵堂の聖徳太子二歳像



大門地蔵堂の馬頭観音



千光寺



千光寺の六地蔵



千光寺の三十三ヶ所観音